

《研究テーマ》

共に学び、ともに行動しよう 明日の社会を担う子のために

山陽小野田市立厚狭小学校



1 学校地域の概要

P T A会長	堂原 明
学 校 長	楠 裕之
児 童 数	6 1 7人
家 庭 数	4 5 9世帯
教 職 数	4 5人
所 在 地	757-0001 山口県山陽小野田市大字厚狭 897-2
	T E L 0836-72-0049 F A X 0836-72-0633
E -mail	asa-sho@city.sanyo-onoda.lg.jp



(1) 地域の特色

校区は、山陽小野田市の北部に位置し、校区のほぼ中央を厚狭川が流れ、南に位置する瀬戸内海に通じている。標高100mから350mの山に囲まれた厚狭盆地に市街地があり、その周辺に水田地帯が広がっている。また、JR厚狭駅を中心に商店街や山陽小野田市の分局・県の出先機関等があり、市の政治・経済・文化の中核となっている。さらに山陽本線・国道2号線が東西に走り、山陽新幹線厚狭駅や山陽自動車道の開通に伴い、人々の交流や物流が盛んになっている。

このように本地区は、昔から交通の要所として栄えるとともに、美しい田園が広がる自然に恵まれた地域である。

保護者・地域の方々は、人情に厚く大変親しみやすい。子どものことに熱心で教育に対する関心も高い。昭和61年に「学校・家庭・地域連携推進会議」（地域教育協議会の前身）を設立し、地域ぐるみで子どもの健全育成を推進している。平成元年度には全国優良P T A文部大臣表彰を受賞し、その活躍は今なお顕在である。

(2) 学校の特徴

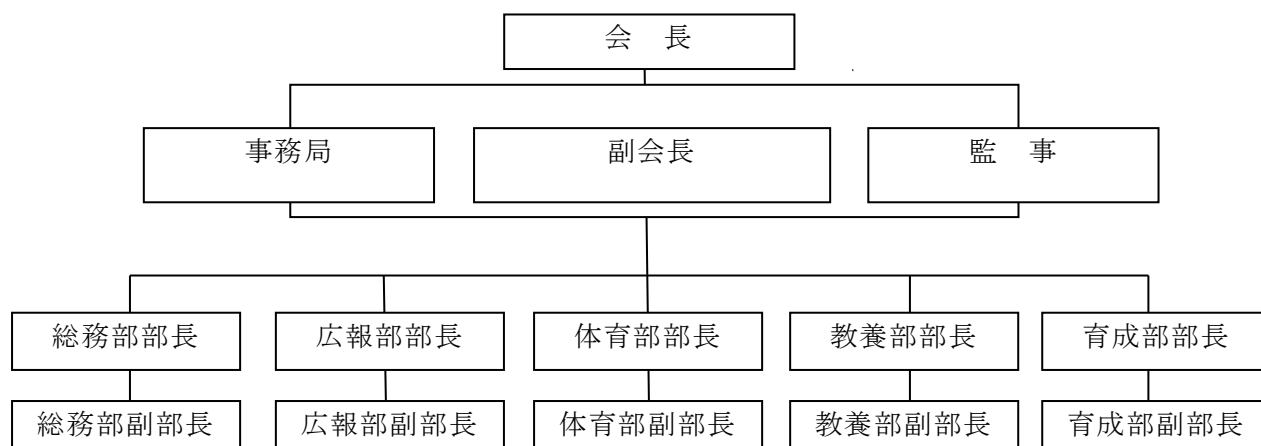
「自らの力を拓き、心豊かに生きる厚狭の子を育てる」という教育目標のもと、目指す子ども像「心豊かな子・自ら進んで学ぶ子・目標に向かって努力する子」、チャレンジ目標「《あ》明るいあいさつ はきはき 《さ》サイレントそうじ ぴかぴか 《の》伸びよう ぐんぐん 《こ》心をつなごう ほかほか」を掲げ、厚狭小学校は豊かな心情と個性を育む体験活動の充実に取り組んでいる。

このような取組を続ける中、P T Aも協力し、平成24年度には読書活動優秀実践校文部科学大臣表彰を受賞した。平成26年度から、「やまぐちっ子の心を育む道德教育」プロジェクト推進校の指定を受け、保護者や地域の方をゲストティーチャーに迎え、P T Aも協力しながら地域に根ざした道德教育の展開に努めている。

昨年度からは、コミュニティ・スクールの指定を受け、学校運営協議会を中核とした「学校支援・学校運営・地域貢献」を推進しながら、児童一人ひとりを地域の人目で見守り育てる活動に取り組んでいる。この運営協議会は、従来の地域教育協議会と連携しながら、「知・徳・体・環境」の各部会で活動内容を決定し、「地域の学校」としての教育活動を行ってきた。

本年度は、コミュニティ・スクール2年目である。「学校支援・学校運営・地域貢献」を更に充実させ、地域とともにある学校づくりを推進し、信頼され期待される厚狭小学校をめざし、それをPTAも全面的に支援している。

2 PTAの組織図



厚狭小学校PTAは、役員選挙を2回実施する。まず、前年度12月に執行部役員選挙を行う。1年～3年は各クラス1名、4年は2名を選出する。4年で選出された役員は、新年度5・6年で2年間執行部を経験する。（6年は会長・副会長・監事、5年は専門部の部長、2年～4年は専門部の副部長）

更に新年度、各クラス2名の学級委員を選出し、各行事の協力体制を取り、執行部の下部組織として機能する。

3 研究テーマについて

近年子どもたちを取り巻く環境が大きく変わってきている。価値観の多様化やグローバル化、また情報の氾濫、少子高齢化など、子どもを育てるうえで様々な問題となって学校教育や家庭教育に影響を及ぼしてきている。このような状況において、学校教育目標である「自らの力を拓き、心豊かに生きる厚狭の子」を育てていかなければならない。

そこで、本校PTA活動の研究テーマを「共に学び、ともに行動しよう明日の社会を担う子のために」とした。心豊かに生きる厚狭の子の育成を目指す教育活動を支援し、明日の社会を担う子ども一人ひとりを見守り、地域ぐるみで子どもの健全育成を推進することを目指し、共に学び・行動するPTA活動を実践していきたいと考える。

4 活動内容

(1) 専門部の活動

【総務部】

- 1 学級学年PTA活動 実践例③
 - ・学級学年PTA活動計画案とりまとめ
 - ・学級学年PTA活動日程調整
- 2 春季大運動会
 - ・運動会前日準備（テント張り・グラウンド整備）
 - ・当日の警備、招待者の接待、後片付け
- 3 『カタリ場』実施への企画、参加と協力 実践例① 山口県PTA助成金活動
- 4 友愛フェスタ 実践例②
- 5 アルミ缶回収
- 6 総務に関する事項
 - ・役員会案内文作成、配布
 - ・全委員会案内文、資料作成配布
 - ・役員会、全委員会（進行、議事録作成）
 - ・その他資料作成
- 7 ベルマーク整理

【広報部】

- 1 広報「あさ」182号
- 2 春季大運動会写真撮影
- 3 広報「あさ」183号
- 4 山陽小野田市小・中学校PTA連合会親睦球技大会写真撮影
- 5 PTA親睦スポーツ大会写真撮影
- 6 友愛フェスタ写真撮影 実践例②
- 7 広報「あさ」184号
- 8 広報「あさ」185号

【体育部】

- 1 第12回市民運動会の協力
- 2 春季大運動会
 - ・運動会前日準備（テント張り、駐車場ライン引き）
 - ・当日警備、バザー、後片付け等
- 3 山陽小野田市小・中学校PTA連合会親睦球技大会
- 4 PTA親睦スポーツ大会
- 5 友愛フェスタへの協力 実践例②
- 6 校内持久走大会の協力



【教養部】

- 1 春季大運動会協力（駐車場、児童席等の警備協力）
- 2 教養講座 実践例③
- 3 救命救急講習会（心肺蘇生法、A E D取扱説明）
- 4 夏休み工作教室
- 5 給食試食会
- 6 教育講演会（人権教育参観日）
- 7 友愛フェスタ協力 実践例②

【育成部】

- 1 ふれあい下校
- 2 地域懇談会 実践例③
- 3 友愛フェスタ 実践例②
- 4 「こども110番の家」の確認
- 5 P T A環境美化活動 実践例③
- 6 挨拶運動



（2）実践例

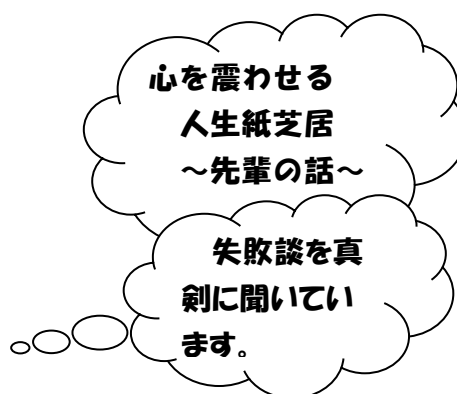
①『カタリ場』実施への企画・参加と協力（総務部） …山口県P T A助成金活動

厚狭小学校の教育目標である「自らの力を拓き、心豊かに生きる厚狭の子を育てる」の達成に向け、キャリア教育に視点を当て、その教育プログラムN P O『カタリ場』を昨年度より6年生を対象に実施している。

N P O『カタリ場』は、どんな環境で育った子どもたちも「未来は創り出せる」と信じられる社会を目指し教育活動を行っている。「ナナメの人間関係」と「本音の対話」を軸としながら、思春期世代の学びを創造的に変えるキャリア教育の機会を届け、あらゆる困難も乗り越える力となる「学びの意欲」を育む活動に力を入れている。

この活動に対し、本年度からP T Aも全面的に支援することとなった。今回、P T A執行部と6年担任が連携し、本事業を進めていった。保護者の立場からも子どもたちの実態を関係者に伝え、より子どもたちの悩みに寄り添った『カタリ場』の前準備ができた。

（活動の様子）





1対1の
本音の対話
～座談会～



シートに自
分の考えを

これから
どんな人にな
りたいか



まとめ
約束の時間



(子供たちの感想)

題「約束の話」

名前 _____

ぼくは先輩の人たちからの話を聞いて思いました。たしなみがあり
ます。それは、失敗してその前向きに生きていくという事です。
先輩たちが話したことは失敗の積み重ねで成功がある
という事です。一人目の先輩の話は、いじめをどう友達
と大切にしてほしいという事です。二人目の先輩はあきらめず
たう戦いをはりていこうとした。初めて知った(やりかた)を改めて
分かった。いろいろなことを学びました。わたしの先輩は
ぼくの将来をどう考えているのか、わたしの将来をどう考えているのか、
約束カードは、いつまでもあきらめず前向きに、二度の人生を
楽しむとききました。これが守れるよう努力したいと思います。

題「カタリ場」

名前 _____

カタリ場があまりありません。先輩方といっしょに話しました。それ
は将来の夢も話したり自分の失敗や成功したこと話
しました。一つ目は失敗はたくさんして、たしなみか
かたのめを考へることです。話して、先輩は
いろいろ失敗してしまったりと絶対にあきらめはしな
たをうです。私はその話を聞いて、すこしは思いました。
二つ目は、自分の夢のことです。自分の夢に向いて一生
懸命にやることは大きくなるとまた喜びや経験にもつな
がると思います。これからの自分は人に、いかに
とを言われても気にせず自分の夢に向いて、がんばれる
人になりたいです。一緒に話してくださった方々に感謝したい
です。

『カタリ場』は、子どもと年齢の近い大学生など20数名が6年生と対話することから活動が始まった。大学生が小学生のロールモデルとなるべく、身近な先輩として赤裸々な生き様を語った。大学生が将来の夢や悩みを本音で子どもたちと語り合うことを通して、子どもたちに今からの頑張りが自分の将来につながることを意識させ、子どもたちの自己実現を支援するプログラムとなった。PTAの『カタリ場』への活動支援は、「自らの力を拓き、心豊かに生きる子どもたちの育成」に大いにつながる活動となり、明日の社会を担う子どもたちの大きな礎となった。

②学校・家庭・地域の連携を目指した『友愛フェスタ』

今年で23回目を迎える『友愛フェスタ』は、学校・家庭・地域が協力して行うPTA活動の一大イベントである。PTA執行部がフェスタ実行委員会を立ち上げ、地域団体・学校・保護者に協力を呼びかけ、その一体化を図っている。地域に溶け込んだ厚狭小学校を目指し、地域の子を地域で育て「自らの力を拓き、心豊かに生きる子どもたちの育成」につながる活動となっている。

～『友愛フェスタ』案内状～

えが お

第23回 厚狭小友愛フェスタ

平成29年11月18日(土)

テーマ

つなごうよ 地域の心と みんなの心

厚狭小学校 地域教育協議会 会長 笹木 隆
 厚狭小学校 PTA 会長
 厚狭小学校 校長 山陽 小野田 市立厚狭 楠 祐
 事務局 山陽 小野田 市立厚狭 小 平
 平成29年(2017年)10月11日発行

～タイムスケジュール～

8:10～10:20 学校公開(自由参観)

10:30～ オープニングセレモニー(体育館)
 【榎太郎太鼓】【4年生：合奏】合唱
 各コーナーオープン

11:30～ 友愛バザー
 14:00～ エンディング
 14:30～ 後片付け

私は、自然がいっぱいで、思いやりあふれる厚狭のまちは、大好きです。おたのしみ大じゃんけん大会
 の見守りやあいさつ運動で、やさしく声をかけてく
 支えたり方をていねいに教え、厚狭が学ばせてみんな
 方々にいつもたくさんお世話になっています。
 この友愛フェスタで、地域の方々の心とみんなの心が更に深くつながり、仲良
 くなって、もっともっと笑顔あふれる厚狭のまちにしたいです。
 厚狭小学6年生代表

主 第23回厚狭小学校友愛フェスタ実行委
 協力団体 厚狭ふるさとづくり協議会
 自治会協議会 婦人会 興協協議会
 老人クラブ 連合会 青少年協議会
 民生児童委員協議会 体育振興協議会
 子ども会 交通指導員協議会
 山陽母子寡婦福祉会

★ゴミは決められた場所に捨てましょう。
 ★エコバッグ、スリッパ、下足用ビニール袋、
 方)をご持参ください。

※当日、平成28年熊本地震により被害を受
 ける為の募金箱を、本部、友愛バザー会場
 にご協力よりしくお願いいたします。

厚狭小から あたがいの心を 被災地へ

地域の皆様のご来校をお待ちしています。

駐 車 場

会場案内図

体育館
 ステージ
 友愛バザー
 ストラップアウト
 本部
 第1校舎
 第2校舎
 第3校舎
 給食室

1030- オープニングセレモニー
 ※榎太郎太鼓
 ※4年生合奏・合唱
 エンディング
 ※おたのしみ大じゃんけん大会

11:30～
 ※各コーナーOP

肉うどんセット
 肉うどん
 おにぎり

フリースペース
 飲食1F
 2F 各教室

【1F】
 6年生
 児童コーナー

【園工室】
 昔の遊び
 (竹細工)

※北側駐車場は、各団体専用です。※〇〇〇は、ゴミ箱の設置場所です。
 ※学校敷地内は禁煙です。喫煙は指定の場所をお願いします。

※食事については、3校舎1・2FとFでお願いたします
 会場案内図は、内容・場所等が変更となる場合がありますのでご了承

友愛フェスタの様子

～フェスタ オープニングセレモニー～



4年生が合奏・合唱を披露しました

～各コーナー オープン～



教職員も売ります




敬老会の方々も参加




学級委員さんも大活躍




校舎内・体育館・屋外で、地域・保護者・教職員が色々なコーナーをオープンしました。昔の遊びあり、ヨーヨー釣りあり、シュシュ作りあり…子どもたちは生き生き活動しました。




食べ物コーナーも充実しています
おいしい...




学校支援ボランティアの方々も




陶芸サークル
作品も販売



本校6年生もクイズパークのお店を出しました。自分たちで企画運営しコーナーを出す大変さを実感。改めてコーナーを出して下さる地域・保護者の方々に感謝の気持ちが湧いてきました。



最後は、教員によるじゃんけん大会でフィナーレ



保護者協力の
不用品バザー
も大盛況

友愛フェスタに至るまでに、学校運営委員会、地域教育協議会、執行部会、実行委員会、職員会議（学校）で、幾度となく協議を進め、学校・家庭・地域の意見を集約しながらフェスタ当日を迎えることとなった。

当日は、たくさんの地域団体、執行部、各学年学級委員、6年生児童によるコーナーが設けられた。フェスタを通して、学校・家庭・地域の連携がより深まり、子どもたちは、家庭・地域により感謝の心を抱くことができた。「地域の子どもは地域で育てる」気運がより高まり、大きな成果となった。

③その他の活動

ア 学年PTA活動

各学級・学年の保護者・児童・教職員が親睦を深めるとともに相互理解を図るために行う活動である。それぞれの学年でアンケートをとり、学級委員と担任が話し合い内容や期日を決定する。活動費はPTAが負担し講師を招いて授業と連携した活動をしたり、体育館を利用した体験活動をしたり、スポーツで体力作りを図ったり、趣向を凝らした内容である。



ボランティアの方に、エコについてのお話と新聞紙で作るエコバックの作り方を学びました

イ PTA環境美化活動

春季大運動会の前、夏休み後半のいずれも土曜日にPTA主催の環境美化活動を実施している。毎年、全保護者・学校支援ボランティアの方々が参加し、子どもたち、教職員がともに汗を流しながら、環境整備を行っている。



子どもたちも美しく整備された環境で、日々の学習やその他の活動に取り組むことができます。...



ウ ふれあい下校

学期に一回、PTA主催で、全校一斉下校（ふれあい下校）を実施している。保護者が子どもたちと一緒に下校することにより、通学路の危険な場所や「子ども110番の家」などを確認するとともに、何気なく見ている道や景色を、子どもの目線で見つめ、子どもの気持ちで安全確認し、地域の安全に対する認識をも



民生児童委員さん
も全面協力

って頂く目的で行っている。

エ 地域懇談会

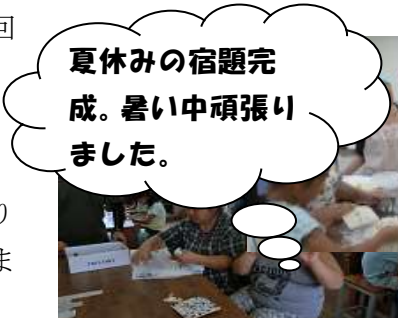
健全な厚狭の子の育成を目指し、地域活動や連携の充実を図るために、「地域懇談会」を実施している。「地域懇談会」は、学校と保護者だけでなく、自治会長様をはじめとする地域の方々、更に民生児童委員、婦人会、老人クラブ等の方々から幅広くご意見を頂き、情報交換をすることで、地域での相互のつながりを深めながら、地域の子を地域のみinnで見守り・育てることを目的として行っている。



安全マップもできました

オ 教養講座

P T Aが主催して、教養講座を年2回実施している。夏休みパン教室、夏休み工作教室を本年度は行った。創作活動を通して、親子で相談・協力しおいしいパン、素敵な作品が出来上がり夏休みの親子の思い出がまた一つ増えました。



夏休みの宿題完成。暑い中頑張りました。

手作りはおいしい

(3) おわりに

5つの専門部が各活動を企画・運営し、P T Aが学校・家庭・地域と一体となって、学校教育目標である「自らの力を拓き、心豊かに生きる厚狭の子」の育成を目指す学校活動をあらゆる場面で支援・協力することができた。

本年度は新たに、山口県P T A助成金の補助を得て、教育プログラムN P O『カタリ場』も実施することができ、明日の社会を担う子どもたちの大きな礎となったことは、更なる成果であると考えている。

今後も、P T Aは、学校・家庭・地域としっかり議論を交わしながら、行事や教育活動に積極的に関わっていきたいと考える。そして、「地域とともにある学校」を支え、コミュニティ・スクールとしての歩みを確かなものとし、ともに学び・行動するP T A活動の進化を図っていききたい。

